

令和6年11月1日

報道関係各位

株式会社南紀白浜エアポート
ヒートロック工業株式会社

ポットホール抑制材料および技術等を空港の
維持管理業務においての実用化に向けた協働に関する覚書を締結

株式会社南紀白浜エアポート（注1、以下 南紀白浜エアポート）及びヒートロック工業株式会社（注2、以下 ヒートロック）は、南紀白浜空港において空港維持管理の効率化・高度化を協働で目指すための覚書を締結しました。

具体的には、ヒートロックの保有するポットホールを抑制する材料および技術を南紀白浜エアポートが運営する南紀白浜空港において、空港基本施設（エプロン）の維持管理への適用可能性を検証し実用化を目指していくこととなります。

空港基本施設（エプロン）の維持管理においては、通常時はもとより、地震発生等の有事においても、飛行機の離着陸に支障をきたすおそれのあるクラックやポットホールが生じたときには、職員自らが早急に補修を行い、空港機能を速やかに復旧させることが必要不可欠となります。

そこでエプロンにおいて、事前にポットホールの発生を抑制する補修材料かつ取扱いが容易な技術を「空港」に適用できれば極めて有用となります。

本取り組みを通じて、ポットホール抑制の補修材料を職員自ら容易に取扱えることにより、空港機能の維持並びに環境・体制を整備し、「空港」の安全性の更なる向上を目指します。

記

1. 覚書の内容について：

両者は協働して、ヒートロックの保有する材料および技術を空港での実用化を目指す

2. 実験期間：

令和6年6月27日～令和7年3月末日（両者合意の上で延長する場合あり）

3. 実験の役割分担：

南紀白浜エアポート	<ul style="list-style-type: none">・ 本実証に必要な場所（空港基本施設）の提供・ 航空会社等の空港事業者との各種調整・ 本実証で得られた成果について対外的な周知・PR
ヒートロック	<ul style="list-style-type: none">・ 空港基本施設の補修に必要な材料の準備・ 上記材料を用いて補修を実施する際の現場指導及び技術支援・ 試験施工後の供用性に関する追跡調査・ 本実証実験で得られた成果について対外的な周知・PR



施工前



現場指導及び技術的助言



施工後

以上

(注1) 株式会社南紀白浜エアポート
<http://shirahama-airport.jp/company/>

(注2) ヒートロック工業株式会社
<https://www.heatrock.co.jp/company/>

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社南紀白浜エアポート 広報・マーケティング
電話：(0739) 43-0095

ヒートロック工業株式会社 開発事業部
電話：(0250) 21-6030